

学年：2年	単元名：15. たし算とひき算 一図をつかって考えよう
-------	--------------------------------

### 1. 単元目標：(全5時間)

○加法と減法の相互関係について理解して、数量の関係に着目し、場面を図に表して構造を捉え、式について考える力を養うとともに、加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習に活用しようとする態度を養う。

考判表・動作化、情景図、テープ図を使って、問題を解く。

知・技・加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し問題を解決することができる。  
・加法と減法の相互関係について理解する。

### 2. 指導内容

・

### 3. 指導のポイント

○文と図と式

- ・文と図と式を関連付けて見るように指導する。
- ・始めは、情景図をかかせて考えさせる。それをテープ図に結びつけるようにする。

○テープ図の理解

- ・テープの長さが、量を表すことを理解させる。
- ・それぞれのテープが、何を表しているかを理解させる。
- ・順思考のテープ図は、すでに学習済みであるが、きちんとしたテープ図の指導は、本単元で確立したい。

○演算決定

- ・動作化で設定場面をしっかりイメージさせることが大切である。
- ・指導者が文を読む→動作化をする→(情景図をかく)→テープ図にする→式を書く。

○逆思考の問題である。

- ・言葉で演算決定することができない。
- ・演算決定の根拠をテープ図に置いている。テープ図も必要だが、「動作化」を演算決定の根拠にすることを推奨する。また、問題文に情景を加味することも重要である。
- ・問題文から映像的情景をイメージして考えることをポイントに置きたい。

### 4. 指導にあたって

- ①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。
- ②それを通してどんな子どもに育てたいか。

## 5. 学習展開

### 第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○テープ図のかき方と意味を知ろう。（P72/73/74）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動

知識・理解・資料・評価・留意点 他

（導入）P72・長さで量を表していることをしっかりおさえる。

#### 1. 問題把握

T:知っている人もあると思いますが。今日からテープ図のかき方と意味について知って、テープ図を使って問題を解く勉強をします。今日は、テープ図でかける人はテープ図でかきにくい人は、絵でかきましょう。では、問題です。

**「みかんが15こあります。どこか買ってきたので、ぜんぶで32このになりました。買ってきたみかんはどこですか。」**

※WB配布

T:3回読むので、頭の中に思い浮かんだ通りに絵にかいてみましょう。

1回目：情景図をイメージしながら動作を加えてよむ。

2回目：どんな絵にするか考えながら聞きましょう。

テープ図をイメージしながら動作を加えて読む。

3回目：絵をかいていきましょう。

みかんが15こあります。→かきなさい。

なんこかかってきたので→かきなさい。

どこかかってきたのかわかりませんね。わからないところは、□にしましょう。

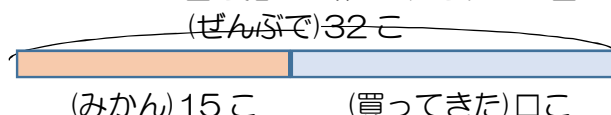
ぜんぶで32こになりました。→かきなさい。

T:かけましたか。では、その絵を見て式と答えをかきましょう。

※テープ図と情景図が出てくると考えられる。

T:では、発表です。

T:（子どものかいた図を指して、）これをテープ図といいます。



※子供のかいた情景図と対応させながらテープ図をかく。

※文章の書かれている順に図をかいていく。

15→□→32と説明しながらかいていく。

T:このように、**テープ図とは、長さでいくらあるかを表します。**

15こと□こをたすと32こになることを表しています。

T:だから、□は $32-15=17$ 。答えは、17ことなります。

※各自のかいた情景図やテープ図を1つずつ修正していくと親切である。

#### 3. まとめ・ふりかえり

T:では、まとめます。

テープ図とは、

①長さで、いくらあるかをあらわす。

②順にかいていく。

③わかっている数は書き込む。

④わからない数は、□にする。

⑤テープ図を見て、式を考える。

※子どもの力でまとめられるといい。

※テープ図がかけない子どもは、情景図でも認めていく。

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○テープ図をかいて、問題をとこう。（P75）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 T:今日もテープ図をかいて、問題を解きます。 では、問題を言います。3回言います。 1回目は、どんな様子か考えましょう。 2回目は、どんなテープ図をかいたらいいか考えましょう。 3回目は、順にテープ図をかいていきましょう。 出てくる数字は、忘れないように書き込みましょう。 また、わからないところは、□でかきましょう。 では、問題です。（各自WB）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ジュースが、何本かあります。26本くばったので、残りが8本になりました。 ジュースは、はじめ何本ありましたか。</p> </div> <p>①情景をイメージするような動作をしながらいう。 何を問うているかを強調する。 ②テープ図をイメージした動作をしながらいう。 特に数値を強調する。 ③区切ってテープ図をかかせる。 ・ジュースが何本かかります。→かきなさい。 C:何かかわらん。→T:わからんのは、□にしなさいよ。 ・26本くばったので→かきなさい。 ・のこりが8本になりました。→かきなさい。 ・ジュースははじめ何本ありましたか。→かきなさい。 C:かいてあるわ。 T:では、テープ図を見て式と答えをかきなさい。</p>	
<p>2. 自力解決・学びあい ○<math>26+8=34</math> <u>こたえ</u> 34本 ※できた人は、黒板に貼り、ノートに図と式と答えをかく。 T:では説明してもらいます。</p>	<p>・個別指導  ・数人指名</p>
<p>3. まとめ・ふりかえり T:テープ図のかき方がわかりましたか。 テープ図の見方がわかりましたか。 ※できた人は、今日の感想をかく。</p>	

※情景図しかかけない子どもは、認めていく。  
図にかいて表現できればよしとする。

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○テープ図をかいて、問題をとこう。（P76③）

○展開は、第2時と同じ。  
○P76①：個別指導。

#### 第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）
-------------------

○問題を作ってテープ図をかいて答えを出そう。（P77）
-----------------------------

OWS①：リボンの長さも自由にした。

○①問題をかく

②先生に持って行って○をもらう。

③半分に折って、友だちと交換して、友だちの問題を解く。

④答えを見て、あっていたら○をつける。

⑤何人かと交換して問題を解く。

#### 第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）
-------------------

○たしかめよう 算数の目 （P78/79）
-----------------------